

■訓練カリキュラム

令和3年	時数	時間帯	題	内 容	講師
2月19日	1	10:00～12:10 (休憩 10分 1回)	高等学校新時代とビジネススキル 1	第1章 立体的にみる ①ビジネススキル ②熟考する ③図解 ④知覚力	三井康彦
	2				
	3	13:00～16:20 (休憩 10分 2回)	アフターコロナの特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナをサバイバルするための多様な学びとは ・アフターコロナにおける学びの進化の方向性 ・個別化、多様化の先にあるもの ・発達障害生徒の多様な可能性 	日野公三
	4				
	5				
3月1日	6	10:00～12:10 (休憩 10分 1回)	高等学校新時代とビジネススキル 2	第2章 今の時代。そして今後を見通す。 ①未来(予測)と進路指導 ②GIGA スクール構想、SDGs 教育	三井康彦
	7				
	8	13:00～16:20 (休憩 10分 2回)	オンライン授業の発展の動向 1～3	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの講義・授業の配信の世界的な動向について、その歴史も含めて理解する ・日本における昨今の政策・法整備・教育環境の整備について理解する ・オンラインでの講義方法について、テクニカルな側面も含めて理解する ・障がい者、言語面での問題を抱えた学習者など、これまで受講に困難を抱えてきた学習者に対して、オンラインでの講義方法が示す可能性について理解する ・学習困難者がオンライン講義を受講する際の問題点とサポートの方法について理解する 	渡邊忠温
	9				
	10				
3月8日	11	10:00～12:10 (休憩 10分 1回)	実践的教職論(教務と服務)	教務的な視点から教員の仕事を再確認すると共に経験事例を通して教員としての在り方を再考する。	寺田直己
	12				
	13	13:00～16:20 (休憩 10分 2回)	1.これからのVR, AR とリアルな世界 2.発達障がいとIT、遠隔支援 3.ヴァーチャル世界の展開と教育	<ul style="list-style-type: none"> ・VR,AR 技術を取り込んでこれからの世界がどう変化していくか、簡単な AR 体験実習を通して考える ・ヴァーチャルな世界とリアルな世界の間隔を考える ・療育支援の現場で模索されている遠隔支援についての理解を得る ・発達障がいの特性とヴァーチャルな世界の相性について考える ・VR 空間に参加する人々が新しい形の「リアル」な世界を創造していく側面を整理する ・VR 空間が作る世界が、虚構の共有によって私たちのリアルな世界を破壊する可能性を整理する ・それらの可能性と危険性を踏まえて、今子どもたちにどのような ITC リテラシー教育が必要なのかを考える 	山本登志哉
14					
15					

3月19日	16	10:00~12:10 (休憩10分1回)	高等学校新 時代とビジ ネススキル 3	第3章 ニュースからヒントを探し出す 不登校、高学歴、制服、留学・・・ 注目すべき2つの高校	三井康彦
	17				
	18	13:00~16:20 (休憩10分2回)	発達障がい を持つ児童 生徒の発達 の連続性を 捉えた自立 への支援	専門職の資質向上のためのケースメソッド教 授法を用いた演習及び講義 1. 演習①観察—私の気になる子供、それは なぜ?—講義①チーム学校の感性を磨く 2. 演習②思春期に起きやすい問題と自立へ の支援—気になるけど、気にならない子 供—講義②子供とその家族のヒストリー —積み残した課題と保護者支援のあり方— 3. 演習③支援者(専門職)としての自己理解 講義③ダイバシティ-の感性養う	鎌塚優子
	19				
	20				